

沖縄ならではの Society5.0 実現に向けて

～誰もが沖縄県の健康・医療を支えるデータサイエンス人材になれる！～

沖縄県では、健康・医療産業の振興を推進し、バイオ関連データを活用した高付加価値産業の創出を目指しています。本シンポジウムでは、バイオインフォマティクスで著名な講師を招き、創薬、デジタルヘルス、環境の各分野におけるバイオインフォマティクスの活用事例やビジネス展望、人材育成の重要性についてご講演いただきます。パネルディスカッションでは、情報産業関連の有識者を交え、沖縄ならではの Society 5.0 実現に向けた討論を行います。皆様のご参加をお待ちしています。

要申込
参加費
無料

2023年

日時

8月9日 水 (開場 13:30) 14:00～17:00

会場

沖縄県立博物館・美術館 講堂

(那覇市おもろまち3丁目1-1)

配信方法

現地開催とオンライン配信のハイブリッド

プログラム

基調講演 1 バイオインフォマティクスが拓く医療と創薬

山西 芳裕 名古屋大学大学院 情報学研究所 複雑系科学専攻 生命情報論講座 教授

基調講演 2 バイオ DX によるゲノム編集基盤技術開発におけるバイオインフォマティクスの役割

坊農 秀雅 広島大学大学院 統合生命科学研究科 特任教授

基調講演 3 沖縄の自然環境を舞台にしたバイオインフォマティクス研究の展開

井口 亮 産業技術総合研究所 地質情報研究部門 海洋環境地質研究グループ 主任研究員

パネルディスカッション

沖縄ならではの Society 5.0 実現に向けて
— 誰もが沖縄県の健康・医療を支えるデータサイエンス人材になれる！

パネリスト：山西 芳裕 (名大院)、坊農 秀雅 (広大院)、井口亮 (産総研)、
稲垣純一 (一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター)、真嘉比愛 (ちゅらデータ株式会社)
ファシリテーター：池松真也 (沖縄工業高等専門学校)

【参加お申し込み】 <https://forms.office.com/r/BgcMKrLcbb>

健康・医療データサイエンス人材育成委託業務受託コンソーシアム

(お問い合わせ) 一般社団法人トロピカルテクノプラス E-mail: bsjinzai0406@ttc.co.jp TEL: 098-982-1100



創薬

基調講演 1

「バイオインフォマティクスが拓く医療と創薬」

本講演では、疾患や生体分子に関するビッグデータの解析において重要な役割を果たすバイオインフォマティクスという学問を紹介します。疾患に関するオミクス情報や臨床情報、化合物に関する化学構造や標的分子情報などの医薬ビッグデータをAI・機械学習で解析し、医療や創薬につなげる役割が期待されています。当日は、創薬標的探索、医薬品候補化合物探索、薬剤シナジー解析、再生医療などへの応用例を紹介します。

【ご略歴】2005年に京都大学大学院理学研究科を修了、2005年からフランスパリ国立高等鉱業学校バイオインフォマティクスセンター・ポスドク、2006年から京都大学化学研究所・助手、2008年からフランスキュリー研究所バイオインフォマティクスユニット・常勤研究員、2012年から九州大学高等研究院・生体防御医学研究所・准教授、2018年から九州工業大学大学院情報工学研究院・教授、2023年から名古屋大学大学院情報学研究所・教授。2023年4月から日本バイオインフォマティクス学会の会長も務めている。



講師

名古屋大学 大学院情報学研究所
複雑系科学専攻 生命情報論講座 教授

山西 芳裕 先生

デジタル
ヘルス

基調講演 2

「バイオ DX によるゲノム編集基盤技術開発におけるバイオインフォマティクスの役割」

生物が持つゲノムの特定の DNA 配列を狙って変化させる技術、ゲノム編集によって医療や育種が変革の時を迎えています。また、実験ロボットによる自動化、ビッグデータや人工知能 (AI) の利活用によるバイオ DX が推進されています。しかしながら、それらの技術を自在に扱える人材、特にバイオインフォマティクス人材が不足しており、必要とされています。本講演では学びのきっかけとすべく、講師らの取り組みにおけるバイオインフォマティクスの役割を中心に概説します。

【ご略歴】1973年大阪に生まれる。1995年東京大学教養学部基礎科学科第一卒業。2000年京都大学大学院理学研究科生物科学専攻博士後期課程単位取得退学。理化学研究所 横浜研究所 ゲノム科学総合研究センター 遺伝子構造・機能研究グループ、埼玉医科大学ゲノム医学研究センター、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 ライフサイエンス統合データベースセンター (DBCLS) を経て、2020年4月より広島大学大学院統合生命科学研究科特任教授。京都大学博士 (理学)。



講師

広島大学大学院
統合生命科学研究科 特任教授

坊農 秀雅 先生

環境

基調講演 3

「沖縄の自然環境を舞台にしたバイオインフォマティクス研究の展開」

金融機関や企業に対して、生物多様性のような自然関連財務情報開示を求める TNFD (自然関連財務情報開示タスクフォース) の提言が 2023 年 9 月に予定されており、生物多様性評価技術のニーズが高まっています。今回の講演では、美しい景観に恵まれた沖縄の自然環境において、私どもがバイオインフォマティクス技術を用いて実施してきた生物多様性研究を紹介し、今後の展開について考えていきたいと思います。

【ご略歴】沖縄県沖縄市生まれ。沖縄県立向陽高校を卒業後、2002年に京都大学総合人間学部で学士号、2004年に京都大学農学研究科で修士号、2008年に James Cook University で Ph.D. を取得。2022年に第44回沖縄研究奨励賞受賞。生物と環境が織りなす多種多様な現象を体系立てて詳細を明らかにし、様々な階層から俯瞰してその細部を見つめることで、新しい発見や応用方法を導き出すことを目指しています。



講師

産業技術総合研究所 地質情報研究部門
海洋環境地質研究グループ
主任研究員

井口 亮 氏

【参加お申し込みは以下 URL または QR コードから】
<https://forms.office.com/r/BgcMKrLcbb>

健康・医療データサイエンス人材育成委託業務受託コンソーシアム

【お問い合わせ】 一般社団法人トロピカルテクノプラス E-mail: bsjinzaio406@ttc.co.jp TEL: 098-982-1100

